

# TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先 (国名) : シーナカリンウィロート大学 (タイ)

Q. 今回の留学プログラムの感想	授業に参加させていた際、どの学生も英語を普通に話して説明できることにとても刺激を受けました。海外研修への参加したことによって自分の普段の授業への姿勢を見直し、授業への取り組みにも変化が出たと思います。
Q. 健康管理や危機管理について	貴重品の管理だけは徹底していたためすりなどの被害にはあわなかった。健康管理の面では、タイは室内の冷房がとても強く、乾燥していたため多少体調が悪くなることもあった。上着は厚めのものが1枚あってもよいと思った。
Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	タイの学生との交流ではいろいろなことが得られました。10日間はあっという間で足りないぐらいでした。タイの治安や食事、衛生面を気にして行くの迷っている人もいますが、タイ人はとてもいい人が多く、食べ物も美味しいので自己管理をしっかりすれば問題ないと思います。行かなければ何も得られないのでぜひ経験してみてください。
Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと	選考の際に英語でも面接があることを知らなかったので直前にとっても焦りました。また、渡航前は奨学金の申し込み、保険の加入など準備しなければいけない書類が多く、期限に間に合わせるのが大変でした。



留学中のお気に入りの写真

コメント : お世話になった先生方と

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。  
国際交流課 学生派遣係 一同

# TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先 (国名) : シーナカリンウィロート大学 (タイ王国)

Q. 今回の留学プログラムの感想	タイと日本の歯科事情の違いなどについて学ぶことができ、非常に楽しく印象的な研修となりました。シーナウィロート大学 (SWU) では、様々な分野の先生方や2年生から6年生まで多くの学生と交流する機会があり、日々新たな発見がある一方、常にコミュニケーション能力が問われているように感じました。自ら日本以外の世界ではつげんをするためには、毎日、語学力と会話力の双方をみがくことが大切であると感じました。また、同じアジアの国であるといっても、歯科事情だけでなく文化や制度に多くの違いを見ることができました。特に王室をはじめとする目上の人への敬意の念が強いこと、仏教への信仰が生活に色濃く影響していることなども、私にとって新しい発見でした。
Q. 健康管理や危機管理について	タイはスリがとても多い、テロの危険性がある、などの情報を研修前に耳にしていたため、安全面に関してはとても警戒していました。しかし実際に危険な目に会うことは全くなく、日が落ちてからでも外出ができるくらいでした。
Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	SWUへの留学は、きっと皆さんの将来に役立つものになると思います。東南アジアの国々の歯科事情を見ることは、とても貴重な経験です。アメリカやヨーロッパなどの歯科技術が進んだ国のことは見聞きする機会も多くあるかと思いますが、タイの歯科について学ぶ機会はさほど多くありません。ぜひこの機会を生かして、自身の見聞を広めてください。
Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと	選考では日本語と英語のエッセイ試験と面接の試験がありました。どちらもさほど大変ではありませんでしたが、日頃から語学力を身に着ける努力をすること大切だと思います。また、旅行の準備は、渡航先の環境をよく調べ、相応の対策をしておくことが、安全に留学をするために重要かと思います。



留学中のお気に入りの写真

コメント : 揚げ豆腐が入ったパッタイ、とても美味しかったです。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。  
国際交流課 学生派遣係 一同

# TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：シーナカリンウィロート大学（タイ）

<p><b>Q. 今回の留学プログラムの感想</b></p>	<p>タイの大学病院を見学したり現地学生さんと一緒に実習に参加したりして、日本との意識、教育、文化などの違いを実感した。自分の英語力や知識の不足をひしひしと感じ、学習へのモチベーションを高めるいい機会になった。この研修では、疑問に思ったことをそのままにせず、質問するという習慣が付いた。また、週末にお寺や遺跡に連れて行ってもらった際にタイの宗教や言い伝え、習わし等多くのことを知ることができた。シーナカリンウィロート大学の温かい雰囲気の中で学ぶことができたことに感謝し、今回の出会いを大切にしていこうと思う。</p>
<p><b>Q. 健康管理や危機管理について</b></p>	<p>ビタミン入りのサプリや、梅干しを持って行き毎日食べて体調を管理した。街を歩くときは人と並んで歩き、常にバッグは体の前で持つようにした。</p>
<p><b>Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ</b></p>	<p>シーナカリンウィロート大学の先生方、学生さんはとても親切な方々でした。英語がとても上手だったり、勉強熱心だったり、現地の学生さんと接して刺激され、学業へのモチベーションが高まりました。自分の世界が広がりましたし、参加できて本当によかったと思っています。</p>
<p><b>Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと</b></p>	<p>辛いものやパクチーが苦手なので、現地での食事がとても心配だった。また、一緒に行くメンバーの中に同学年がいないことも少し不安だった。</p>



留学中のお気に入りの写真

コメント：ホテルから見える広大なキャンパスです。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。  
国際交流課 学生派遣係 一同

# TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：シーナカリンウィロート大学（タイ）

<b>Q. 今回の留学プログラムの感想</b>	現地の先生に連れられて、病院の各診療科をまわることができ、日本との違いを見て聞いて知ることができて面白かった。どの先生方も快く質問に答えてくださり、専門用語を用いての英語でのコミュニケーションができてとてもためになった。現地の学生との交流も多く、学校生活の違いや文化の違いについて会話して楽しかった。先生方も学生も、現地の人たちもみんなとても親切で、よくしていただき、人の温かさを改めて感じることができた。国、文化は違えど、人の温かさを感じ、繋がりの大切さを知ることができ、医療従事者になるにあたって大事なことを学べたと思う。本プログラムでは診療科を見学し、学生実習に参加して海外の歯科について学ぶだけでなく、現地の人との交流、異文化体験もすることができてとても充実したものだ。
<b>Q. 健康管理や危機管理について</b>	水はペットボトルのものを飲むようにしていた。タイの料理は辛い物が多いため、辛いかどうか聞いてからメニューを決めていた。特に注意すべきは車、バイクで、タイの交通状況はとても悪く、バイクの信号無視、逆走は当たり前。横断歩道を渡ろうとしても止まってくれないため多少強引に渡っていかないといけない。なので交通事故に要注意。
<b>Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ</b>	海外の歯学部に行く機会はなかなかないと思い、実際に経験することによって日本との違いを知ることができ、日本では当たり前なことが違ったりと、新しい発見や視野を広げることができ、とても刺激になります。海外の歯科に興味がある、海外の文化に興味がある、海外に行ってみたい、英語を実際に使いたいなど、どれか一つでも当てはまる人はこのプログラムに参加してほしいです。自由時間も結構あったため、自分の行きたい所へ行き、興味のあることをやることができます。僕は現地の人とも交流してみたかったため、空き時間に現地の人たちに交じってスポーツをしました。皆さんもぜひ先生、学生はもちろん、現地の人たちと積極的に交流してほしいと思います。
<b>Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと</b>	プログラム申し込み時の英語と日本語のエッセイだけでなく、応募後に日本語と英語での面接による選考があることを知らなかったため少し焦った。日本語での面接は日本人の先生3人に志望理由などを聞かれた（受験の面接と同じ様）。英語の面接は海外の先生と1対1で英会話をするものだった。渡航前は提出書類や振り込み等やることが多く大変だったが、学生派遣係がアナウンスしてくれたため、スムーズにできた。



コメント：ワット・アルン。2日間、SWUの学生とバンコク等を周ることができました。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。  
国際交流課 学生派遣係 一同

# TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先 (国名) : シーナカリンウィロート大学 (タイ)

## Q. 今回の留学プログラムの感想

英語の能力もあまりないうえに海外旅行の経験もほとんどない中でいきなりタイに10日間行くことになり、不安で最初の数日は気分が沈んでいた。しかし、向こうの大学の先生方はお忙しい中私たちのサポートを全力でしてくださり、また現地の学生との交流を通して、拙い英語でも一生懸命相手に伝わるように挑戦することが大切なのだとなり、積極的に交流することができた。また、タイの歯科事情も知ることができ、日本で臨床的内容を学ぶ前に良い刺激になった。

## Q. 健康管理や危機管理について

タイマッサージで膝を外側に思いきり引っ張られ、その後は帰国するまで膝が痛くて大変だった。気をつけてください。

## Q. 今回の派遣先への留学を希望している先輩たちへのメッセージ

英語が話せない、聞き取れないだけど何とか海外の大学に見学に行ってみたくて思っている人にこそ是非一度応募していただきたいと思います。英語が苦手でもどうしても緊張してうまく話せない。だから、できるだけ話さないという人は私も含めて多いと思います。タイの人達にとっても英語は第二言語です。上手な表現でなくても、伝えようとする意思が大事なのだ気づかされました。現地の学生と友達になることもできました。また、学生の実験に参加したり、病院見学を通してタイの歯科事情について学んだりすることができ、大変勉強になりました。

## Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと

英語の面接が鬼門でした。英語の能力が低いので、外国の先生と話すだけで緊張してしまうので本当に大変でした。2回やっていただいたので少し慣れて二回目はよく話せたと思います。

## 留学中のお気に入りの写真



コメント：ホテルから見える大学の風景。フットボールコートが広いです

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。  
国際交流課 学生派遣係 一同

# TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：シーナカリンウィロート大学歯学部（タイ）

## Q. 今回の留学プログラムの感想

留学中に会った人々はみんな親切で優しく、研修中は多くの方々と交流することができた。現地学生が行う実習や講義への参加、土日に行われる交流を兼ねた小旅行を通じてタイでのネットワークづくりも上手くできたと感じた。何よりも、学生・教員との交流だけでなく、現地の少年たちと空き地でセパタクローをするなど大学外での交流ができたことなども印象に残った。本研修は、講義や研究への参加が主体のプログラムではないため、異文化交流を行い、自分と異なる人々の文化、生活を知ることができたのが本研修で最も大きな成果だと感じた。

## Q. 健康管理や危機管理について

バンコクの治安を比較的良好であり、他の東南アジア諸国と比較しても衛生的であるため、しっかり注意を払っていれば危険な目に合うことは無いだろうと感じた。しかし、犯罪の多い地域や夜になると雰囲気の変わる通り、また衛生的に危ない飲食店は多くあるので十分気を付けて行動するとよい。

## Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ

少しでも興味があればまずは応募してみましょう。英語力が無くても、海外経験が無くても、このプログラムはやる気さえあれば気軽に参加できるプログラムだと思います。学部生の間に海外の歯学部の雰囲気を体験しておくことで、将来の選択肢もぐっと広がると思います。

## Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと

留学中は基本的に他の参加者との集団生活になるので、上手くやっていけるか不安だった。

## 留学中のお気に入りの写真



コメント：週末にお出かけしたときの写真です。みんなの笑顔がいいですね！

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。  
国際交流課 学生派遣係 一同